

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学	分野	臨床検査学
学籍番号		院生氏名	中野 恵一
通学キャンパス			
論文題目	日常検査における非特異反応の原因究明と対応法に関する研究		
審査結果(枠で囲む)	合格		不合格
<p><審査結果の要旨></p> <p>1. 主論文について</p> <p>1) 研究の概要</p> <p>日常臨床検査において患者の病態を反映しない非特異反応が偶発的に生じ誤診の要因となりうる可能性がある。本研究は、①非特異反応の検出方法についての文献的調査を行い、②実臨床で生じた非特異反応、具体的にはIgE測定値の試薬間差、心筋トロポニンIとTの乖離、臨床経過と矛盾するCA19-9とプロラクチンの異常高値、及びミコフェノール酸代謝産物の交差反応について原因精査と対応法の検討を行い、③個々の非特異反応発生の原因と対応を総論的にまとめ、臨床での運用を目的とした非特異反応の発見から原因究明までの対応チャートを作成したものである。</p> <p>2) 研究方法</p> <p>本研究は、国際医療福祉大学大学倫理審査施設委員会、及び北海道大学病院生命・医学系研究倫理審査委員会での倫理審査承認を経て実施されたものであり、倫理的に問題ないと判断された。また、1)研究概要に示した内容について研究計画に従い適切に実施された。個々の非特異反応の原因精査・対応法については副論文とした5つの英文論文がPublishされており、その論証は十分に科学的であったと評価できる。</p> <p>3) 知見の新規性と価値</p> <p>本研究は、日常検査で遭遇する個々の非特異反応の検出や原因の解明を通じて、一連の対応法をまとめたものであり、誤った検査結果報告を防ぎ、高質な臨床検査を提供するために重要な研究成果であり高く評価できる。</p> <p>2. 審査経過について</p> <p>11月30日(水)15:00~16:10に審査員3名の顔合わせを行い主査を決め、続けて中野恵一氏の研究発表を行い、口頭試問を含めた審査会を行った。審査員より、論文構成、文章表現、図表の表示について指摘し、加筆修正を求めた。12月24日(土)に修正論文が提出されるも、一部に不備があり、12月29日(木)に再度提出され、指摘箇所は適切に加筆修正されたことを審査員全員が確認した。</p> <p>3. 口頭試問の結果</p> <p>口頭試問において適切に応答した。</p> <p>4. 可否</p> <p>以上の結果から、審査員全員は本論文が博士(臨床検査学)の学位に十分に値するものと認めた。</p>			
論文審査担当者	<p>主査 佐藤 謙一</p> <p>副査 東島 弘子</p> <p>副査 樋口 清孝</p>		